食育推進評価専門委員会において提出された意見等

総合的な観点

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
SDGsのように見やすくて分かりやすい、一目見てみんなが分かるような象徴みたいなものを何かで		纷会的+> 担占		国民	関係府省庁	情報提供	CDC ₀
表す方法も、これからは入れる必要があるかもしれない。	_	総合的な視点		国 氏		1月報徒1共	SDGs
SDGsの考えに基づき、幅広く食育を捉えていくことが重要。 発信方法についてもSDGsのロゴ		総合的な視点		国民	関係府省庁	情報提供	CDC-
マークを参考にするなど検討してほしい。	_	総合的な税点		国 氏		1月報徒1共	SDGs
食育は、関係者のWin-Winの関係がないと継続しない。続けるインセンティブが必要。関係省庁が							
連携して、 学校・職場・地域・産業・文化・伝統がつながるような一つの大きなサイクルを作ってほ	_	総合的な視点		国民	関係府省庁		
しい。							
20代、30代の親から始まって、子供たち、そして子供が思春期になり、結婚前の女性、男性、そし							
てまた親世代というサイクル をどう捉えていくのか。サイクルを きちっと組み立てた基本計画ができ	_	総合的な視点		国民	関係府省庁		
るとありがたい。							
「弁当の日」の取組や農林漁業体験は、継続して行われることで効果がある。 一人の人間のライフス		炒 ♠約+>加上		国民	関係府省庁		弁当の日
テージにおいて継続して食育が行われているか、という視点での検証が重要。	総合的な視点		国 氏			ガヨの日	
目標について平成27年度から改善がみられない数値は、その原因や理由を整理すべき。	_	総合的な視点		委員会	関係府省庁	目標	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、ほぼ毎日とっている割合よりも、「ほとんど						目標	
ない」という回答が13.6%まで上がっており、むしろこちらの方が問題。本質的に食育という健や	_	総合的な視点			関係府省庁		
かな食生活を考えた時に、 <mark>どこに目標値を立てるかを考えることが重要</mark> 。							
各省庁の取組についての広報は農水省が一括、または所管の省庁毎に行っているのか。ニュースにな		総合的な視点		国民	関係府省庁	情報提供	
るものがたくさんあるので、 上手く広報していただきたい 。		心口ログながた無		国区	(天) (本) (1)	I 日刊以近代	
食育推進基本計画や家庭教育の冊子が浸透しているのか疑問。現場の父母にまで情報が届くにはどう	_	総合的な視点		国民	関係府省庁	情報提供	
すればよいのか。		心口ログながた無		国区	(天) (本) (1)	I 日刊以近代	
SNS を活用した広報については、 関心を引くようなタイトルなどの工夫が必要 であり、 パンフレッ							
トなども公表するだけでなく、設置場所も考える必要。 毎日3食摂ることの重要性を国民に広報して	_	総合的な視点		国民	関係府省庁	情報提供	
いくことも大事。							
なぜ食育が大事なのかを、子供、若い世代、そして教師が理解し、伝えられるよう、農林水産省が収		₩ <u></u>			100万分人广	/注 ±D+B /++	ナルデンフ
集・公表しているエビデンスの整理は大事。	_	総合的な視点		国民	関係府省庁	情報提供	エビデンス

(1) 家庭における食育の推進

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
早寝早起き朝ごはんが始まって12年、継続はとても大事。次のステップとしてどこを目指すのか。	安庭	若い世代を中心とし	多様な暮らしに対応	子供		国民運動	朝食欠食
暮らしが多様化し、早寝早起き朝ごはんの実践が困難な世帯 、子供もたくさん出ている現状もある。		た食育の推進	した食育の推進	丁 供		国氏連動	貧困家庭
早寝早起き朝ごはん運動は、保護者・先生にとって、食育の大きな役割を担っている。子供が望まし	安庭	若い世代を中心とし	健康寿命の延伸につ	子供	心珠老 学长 签	国民運動	却会与会
い生活習慣を身に付けることが、健康寿命の延伸にもつながっていく。	た食育の推進ながる食育の推進	保護者、学校等	国氏建新	朝食欠食			
	家庭	若い世代を中心とし		子供		国民運動	朝食欠食
1版(は20时に丁供は机役。手板手起さ粉とはAOD教育をひている。	3/)连	た食育の推進		丁供		国氏建勤	初及人民
朝食欠食の地域別の現状を把握すべき。 また、 <mark>朝食摂取等のためには、家庭教育が重要であるが、</mark> 真	家庭	若い世代を中心とし	多様な暮らしに対応	子供		分析手法	朝食欠食
に理解してもらうことが必要な家庭にどう働きかけていくのかを引き続き考えていきたい。	3/)连	た食育の推進	した食育の推進	丁供		力机于広	初及人民
親が食事を準備することも大事だが、 子供が自分で朝食を作ったり、栄養バランスを考えて何を選択	宏应	若い世代を中心とし		子供			
すればよいかといった力を身に付けるためのきっかけ、教育が大切。	3/)连	た食育の推進		丁快			
子供が自ら買い物し、メニューを決め、調理する「弁当の日」の取組は、まさに食育の実践と言え、	宏应	若い世代を中心とし		子供			***
教わることではなく自ら学ぶことで効果がある。		た食育の推進		丁快			弁当の日

30~40歳代の父親の理解が、健康寿命を延伸し、子供の食育を推進するのではないか。	家庭		健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	子供	保護者		
親世代が食育を知らないと子供たちにも教えられない。家庭教育に食育を入れてほしい。	家庭	若い世代を中心とし た食育の推進		保護者			
保育所の児童の保護者は、中学・高校時代に食育を学んでいないが、1回でも保護者へ食育の働き掛けを行うと、意識も変わり、家庭での食育にもつながる。	家庭	若い世代を中心とし た食育の推進		保護者			
未就学児もiPadやスマートフォンでSNSを見る中で、ここの捉えどころは大きい。	家庭	若い世代を中心とし た食育の推進		子供		情報提供	
給食は、1年間の子供の食事全体の6分の1でしかなく、残りは家庭であることをしっかり伝えていく必要。	家庭	若い世代を中心とし た食育の推進		保護者		給食	
食育の最小単位は家族。共働き世帯の増加や「働き方改革関連法」の施行は食育への追い風。両親が働きながら家族一緒に食事できるよう、例えば、食べ方改革のようなキャッチフレーズを考えてもいいのではないか。		若い世代を中心とし た食育の推進		国民			働き方改革

(2) 学校、保育所等における食育の推進

学校の表における地域医験や回転を対していて、原列調整の面も含めて、JAがコーディーターをやることなど、都運用性や印刷する目に関連さ出する方式とは、 オーターをやることなど、都運用性や印刷する目に関連さ出する内容を対している。 プAや下表をが変け、学校はたの地域医験の信用を支える体制マくりかもました。 おおいたな方が変更し、学校はたの地域医験の信用を支える体制マくりかもました。 おおいたなるよお常にもったいない、チルであったり、特別関助で置と連絡を図りなが ら始を検験等に生き着脚周の再像に想来、その有成を解放サイドが担うことで学校給食との連携を進 数した含立の能量 かたいくのではないか、チルドであったり、冷凍加工であったり、そういった一次加工品 学校、保育所等 がためるようにおいたったいない、チルドであったり、冷凍加工であったり、そういった一次加工品 学校、保育所等 がためるようにおいたのではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけに存せず、多方面と連携して学校総会を変えまできたらよい。 いたの一人ではないか、学校教育だけではないの表現等できない場面がコンスを変が食までする。 地域を静や回復食材が使用着の目標値に関連できない場面がコンスト面をのであれば、この頭につ対してクースものをでして、変えの確認で研究を直 切した表育の施理 製造の手がものも、表まり場合が描れいであるを連加は、価格だけではなく、変異体 教育の目標もあるとすみられる。教育技術を対するの種がはない。 学校、保育所等 対した表育の施理 製造の手がの地面を動かけ取る。 学校教育のの場合での地域を他の受用も合こついて、アロー80%合の側を重ねんた新国の分でを含と良。 対した表育の施理 地域を教育のを参加するのか、一手線み込んだ要因分析ができると良。 学校、保育所等 対した表育の施理 かい。他の場際や環境を直 以たま育の施理 かい。他の場際や環境を直 はたま音の施理 かい。現実神を使用する場合の、数字がはからること、一手線み込んだ要因分がかないと、 学校、保育所等 対した表育の施理 かい。他の場際や環境を直 いた表育の施理 かい。他の場際や環境を直 いた表育の施理 かい。現実神を使用する場合の、数字がはからること、一手線み込んだ要因分析ができると良。 学校、保育所等 対した表育の施理 かい。現実神を使用する場合の、数字がはからること、一手線み込んだ要因分析ができると良。 学校、保育所等 対したま合の地域を必ずがあることがよい、非確によっては、学校格食として地野・ 学校、保育所等 対したま育の施理 かい。現実神を見ていない。 学校、保育所等 ない。現実神を見ていない。 学校、保育所等 ない。現実神を見ていない。 学校、保育所等 ない。現実神を見ていない。 学校、保育所等 ない。ときないまため、一手を見ないない。 を自 のが関係や環境を直 のが関係を見ていない。 学校、保育所等 ない。とないまためではいない。 学校、保育所等 ない。とないまためでは、ない、体験を対していない。 学校、保育所等 ない。たまないまためでは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
定型の上できないことがある。地域を第31一字イネーターの意動が、非常に大きい。	学校給食は1か月前から予定を立てなくてはいけないので、それに見合うものを予定していても、予	, 学校 - 伊奈庇华	多様な暮らしに対応		学校笙	即反应坐亡	松合	地安地沿
字の、保育所等 した育の態と 子供 即隔所合け 知政 地産地間 学校的食品に関連を行うべき。	定通りにできないことがある。 地産地消コーディネーターの役割が、非常に大きい 。	子仪、休月川寺	した食育の推進		子仪守		和民	地连地冲
ネーターをやることなど、製造機能の高齢が適当を関する主義を指摘の高齢がの音点に製造的とな行うべき。 学校後官に撃攻を使用する主義を指摘の高齢が必須と、手を着着側面が開放と直接を図りなが、 5 拾食機能等に関する主義を指摘の高齢が必須と、手を着着側面が開放と直接を図りなが、 5 拾食機能等に生産者組織の育成に考手。その育成を提及える体部づくりが必要。	学校給食における地場産物や国産食材の使用割合について、原料調達の面も含めて、JAがコーディ	学校 伊芬菲华	多様な暮らしに対応		7#	即反应少亡	松会	##
5A・下行政等が支援し、学校結合の地場産物の返用を支える体制づくりが必要。	ネーターをやること など、都道府県や市町村の首長に働き掛けを行うべき。	子仪、休月川寺	した食育の推進		丁採		和民	地连地冲
1Aや行政が交替し、学校協会の地場番物の高用を支える体制でもから表。 商品化した生産者組織の育成に有手、その育成を農政サイドが担うことで学校給食との連携を進 放びている。 政権関係との主要を経験して、事業の情報を表の、機能等目成が登集、要定限実には、教育関係が国産と連携を置りなが と始後層物用の推進で、旬の良材がそのときだけ大逆にできても、その一例のときにしか給食で使え ないとなると非常にもったいない。チルドであったり、冷凍加工であったり、冷凍加工であったり、そういった一次加工品 附窓の食材をどのように選択するかを子供たちに伝えていくかを考えると、悲感が国産の食材をおの できる光でいくのではないか。学校教育とだけ氏性で、多方質と連携して学校給食を光末できたらよ いい。 地域産物の使用を進めたいが、手部や気候等により収重が上がらないために、学校給食に利用できない。 地域産物の使用を進めたいが、手部や気候等により収重が上がらないために、学校給食を光末できたらよ いい。 地域産物の使用を進めたいが、手部や気候等により収重が上がらないために、学校給食に利用できない。 地域産物の使用を進めたいが、多部や気候等により収重が上がらないために、学校給食を光末できたらよ のの機能や環境を意 はした会育の推進 カー 分成 機能が過度を 関係 関係 では、後食 地産地別 したと言の地進 とのの機能や環境を意 はした会育の推進 カー 分成 機能が関係 では、多方質と連携ができると含まると、活動体 制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの深趣解決は困難であるまが、外野での問題もあると考えられる。教育現場だけでの深趣解決は困難であるまがの使用者が増出いであるため、多分野機能的な歌組 を検討する多がある。 「教育の問題を物の使用者合こいで、アロー80%台の場であると実成しているが、平均すると 20数%、地域、実施生体の意識等により違いがあるため、一般移動込んだ要因分析ができると含まない。 地域、保育所等 数の機能や環境を意 地した会育の推進 タの商権や環境を意 地した会育の推進 タの商権や環境を意 地した会育の推進 タの商権や環境を意 地した会育の推進 タの商権や環境を意 地した会育の推進 タの商権や環境を意 地した会育の推進 日標 地産地別 地産地別 日間をおりているため、発学が上がりにくい。 ・ 日標 できる・地域を動かりない等のることがよい、地域によっては、学校・保育所等 かの確と場所を意 ないの確とり場所を意 これた者での連進 ・ 「大供 学校等 日標の体 関係 日標 地産地別 ・ 日標 地産地別 ・ 日標の 地産地別 ・ 日標の 地産地別 ・ 日標の機能の使用する話さんの表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表のでは、 日標の表の表の推進 日標を取り上がりる話としている正確の表の表の表 日標を取り上がりることがよい、地域によっては、学校・保育所等 はした会育の推進 クの確とり過途を表 はした会育の地進 クの確とり場を表 ないためでは、大学校・保育の主なる。	学校給食に野菜を提供する生産者組織の高齢化が進行。生産者組織の継続的な活動に向けて、例えば		食の循環や環境を意			即区司人 即区应少点	給食	批英批准
S 計会施設等に生産者組織の育成に若手。その育成を無数サイドが担うことで学校給食との連携を進っている。 地域国際の用の対策で、何の食材がそのときだけ大量にできても、その一頭のときにしか給食で使え ないとなると非常にもったいない、チルドであったり、冷寒加工であったり、そういった一次加工品 粉色ならを作って給金で使えるようになればもっと地場産物の使用率も上がるのかなと考えている。 発格育所能 のおならのを作って給金で使えるようになればもっと地場産物の使用率も上がるのかなと考えている。 発格育所等 がと強んでいくのではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を充実できたらよ いい 地域国際物の使用を進めたいが、多部や気候等により収量が上がらないために、学校給食に利用できな ないケースもある。 地域国際物の使用配金技の使用する日帰機に到達できない運由がコスト面なのであれば、この問題に対 ロレアとのようにアプローチをするべきかを検討すべき。 学校給育における場合を充実では、個格だけではなく、選連体 制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野機断的な取組 を検討する必要がある。 学校給育でのおは機能を動を使用剤含の目標に対してうる。教育現場だけではなく、選連体 制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野機断的な取組 を検討する必要がある。 学校給育でのおは機能を動を使用剤含について、70~80%合の以もあると実態しているが、平均すると 20数%。 地域、実施主体の音楽等により違いがあるため、一歩語か込んだ要因分析ができると良 いい 地域国際の使用剤含にしいて、70~80%合の以もあると実態しているが、平均すると 20数%。 地域、実施主体の音楽等により違いがあるため、一歩語か込んだ要因分析できると良 いい 地域国際の使用剤含に、使用量の多いものも、同し一品としてカウントした上で、地域 地域地域を表 さいた食育の推進 との確認が環境を表 さいた食育の推進 との確認が環境を表 さいた食育の推進 ・ 「一 日標 地産地海 地産地海 ・ 「一 日標 地産地海 ・ 「一 日標 地産地海 ・ 「一 日標 ・ 地産地海 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	JAや行政等が支援し、学校給食の地場産物の活用を支える体制づくりが必要。	子仪、休月川寺	識した食育の推進		土生石		組織づくり	地连地冲
今路倉庫職等権に基金者組織の高級に着手、その育成を高数サイドが担うことで学校給我との連携を建一学校、保育所等	高齢化した生産者組織もあり、後継者育成が急務。鹿児島県では、教育機関が農政と連携を図りなが		今の循環や環境を登					
めている。 地域を含めたいくい。 ・ 学校等	ら給食施設毎に生産者組織の育成 に着手。その育成を農政サイドが担うことで学校給食との連携を進	学校、保育所等			生産者	関係団体、関係府省庁	組織づくり	地産地消
ないとなると非常にもったいない。チルドであったり、冷凍加工であったり、そういった一次加工品 「学校、保育所等 「会社会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会	めている。		越した良自の推進					
ないとなると非常にもったいない。チルトであったり、そういった一次加工館 かなわるを作って始金で使えるようになればもっと地域機構の使用率を止かるかかなと考えている。 給食の食材をどのように選択するかを子供たちに伝えていくかを考えると、地域や国産の食材をおの すと強んでいくのではないか。子税教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を允実できたらよ いい ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	地場産物活用の推進で、旬の食材がそのときだけ大量にできても、その一瞬のときにしか給食で使え		タ拼か草にした対応				松会	
のなものを作って給食で使えるようになればもうと地塩産物の使用率も上がるのかなと考えている。 給食の食材をどのように選択するかを子供たちに伝えていくかを考えると、地域や国産の食材をおの すと遊んでいくのではないか。学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を充実できたらよい。 地場産物の使用を進めたいが、季節や気候等により収量が上がらないために、学校給食を充実できたらよい。 かりケースもある。 地場産物や関産食材の使用割合の目標値に到達できない理由がコスト面なのであれば、この問題に対してどのようにアプローチをするべきかを検討すべき。 学校総合に下プローチをするべきかを検討すべき。 学校経験によりえる地理産物や回産食材の使用割合が関係いである理由は、価格だけではなく、流通体 制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野横断的な取組 学校、保育所等 学校、保育所等 対した食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 は、た食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 は、た食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 なの循環や環境を意識した食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 なの循環や環境を意識した食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 なの循環や環境を意識した食育の推進 学校、保育所等 と、保育所等 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 と、保育所等 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の経進 と、保育の推進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の推進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の経進 と、保育の推進 と、保育の推進 と、保育の経進	ないとなると非常にもったいない。 チルドであったり、冷凍加工であったり、そういった一次加工品	学校、保育所等			子供	学校等		地産地消
ずと選んでいくのではないか、学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を充実できたらよ 学校、保育所等 2の循環や環境を高 混した食育の推進 2 学校等、関係宿省庁 給食 地産地消 地温産物の使用を進めたいが、季節や気候等により収量が上がらないために、学校給食に利用できないケースもある。	的なものを作って給食で使えるようになればもっと地場産物の使用率も上がるのかなと考えている。		した良有の推進					
がと遊んでいくのではないか。学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を充実できたらよいい。 いいっともある。 地場産物や国産食材の使用部合の目標値に到達できない理由がコスト面なのであれば、この問題に対してどのようにアプローチをするべきかを検討すべき。 とてどのようにアプローチをするべきかを検討すべき。 学校、保育所等 製学の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野横断的な取組 学校給食での製産物や国産食材の使用割合について、70~80%台の県もあると支感しているが、平均すると 20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良い。 地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じー品としてカウントした上で、地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じー品としてカウントした上で、地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じー品としてカウントした上で、地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じー品としてカウントした上で、地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じー品としてカウントした上で、地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、数字が上がりにくい。 全ての市町村が地場産物を使用する割合、国産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、全ての市町村が地場産物を使用する国金、国産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、全した自身の推進 学校、保育所等 対応食うの推進 学校、保育所等 対応ない。 日標 地産地消 地産地消 ・ 学校、保育所等	給食の食材をどのように選択するかを子供たちに伝えていくかを考えると、地域や国産の食材をおの		食の活躍や環境を音					
い。 地場産物の使用を進めたいが、季節や気候等により収量が上がらないために、学校給食に利用できな 地場産物や国産食材の使用割合の目標値に到達できない理由がコスト面なのであれば、この問題に対 とで必ようにアプローチをするへきかを検討すべき。 学校、保育所等 「大どのようにアプローチをするへきかを検討すべき。 学校、保育所等 「大学校、保育所等 「大学校・保育所等 「大学校・保育の推進 「大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・大学校・	ずと選んでいくのではないか。学校教育だけに任せず、多方面と連携して学校給食を充実できたらよ	学校、保育所等	20 7 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		子供	学校等、関係府省庁	給食	地産地消
いケースもある。	UN°		職のた政内の定進					
いゲースもある。	地場産物の使用を進めたいが、季節や気候等により収量が上がらないために、学校給食に利用できな		食の循環や環境を意		_		給食	地産地消
してどのようにアプローチをするべきかを検討すべき。		子仪、休月/N号 讀	識した食育の推進				WIE CONTRACTOR OF THE CONTRACT	- 8/11
してどのようにアプローチをするべきがを検討すべき。	地場産物や国産食材の使用割合の目標値に到達できない理由がコスト面なのであれば、この問題に対	· 学校 保育所等	食の循環や環境を意		_		給食	地産地消
制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野横断的な取組 学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 学校等 関係団体、関係府省庁 船食 組織づくり 学校給食での地場産物の使用割合について、70~80%台の県もあると実感しているが、平均すると 20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良い。	して どのようにアプローチをするべきかを検討すべき 。		識した食育の推進				WIE C	
制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、多分野領助的な取組 学校給食での地場産物の使用割合について、70~80%台の県もあると実感しているが、平均すると 20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良 い。 地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じ一品としてカウントした上で、地 場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 地産地消 地産地の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 地域を物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 地域を物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 地域産物を使用する割合、固産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、全ての市町村が地場産物を使用する割合、固産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、全での市町村が地場産物を使える状況にはない。 目標値として地場産物だけでなく国産食材があることがよい。地域によっては、学校給食として使用できる地場産物が少ない等の事情がある。 学校、保育所等 学校、保育所等 学校、保育所等 学校、保育所等 学校、保育所等 会の循環や環境を意 識した食育の推進 学校、保育所等 会の循環や環境を意 識した食育の推進 学校、保育所等 会の循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 さの循環や環境を意 をおりた。などで廃棄される国産食材を活用学校、保育所等 を必要がある。 学校給食で、国産や地場産を使えばコストが上がってしまうが、傷などで廃棄される国産食材を活用学校、保育所等 をおりている。	学校給食における地場産物や国産食材の使用割合が横ばいである理由は、価格だけではなく、 <mark>流通体</mark>		食の循環や環境を育				給食	
を検討する必要がある。 学校給食での地場産物の使用割合について、70~80%台の県もあると実感しているが、平均すると 20数%。 地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良	制等の問題もあると考えられる。教育現場だけでの課題解決は困難であるため、 多分野横断的な取組	学校、保育所等			学校等	関係団体、関係府省庁		地産地消
20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良い。 学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 学校等 関係府省庁 分析手法 地産地消 い。 地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じ一品としてカウントした上で、地場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 食の循環や環境を意識した食育の推進 一 一 地産地消 全での市町村が地場産物を使える状況にはない。 全での市町村が地場産物を使える状況にはない。 学校、保育所等 学校、保育所等 学校、保育所等 子供 会の循環や環境を意識した食育の推進 十 できる地場産物が少ない等の事情がある。 学校給食として使棄される国産食材を活用学校、保育所等 学校、保育所等 会の循環や環境を意識した食育の推進 一 日標 地産地消 学校給食で、国産や地場産を使えばコストが上がってしまうが、傷などで廃棄される国産食材を活用学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 学校等 会の循環や環境を意識した食育の推進 学校等 会の循環や環境を意識した食育の推進 学校等	を検討する必要 がある。		IN O / CEC 1 0) IEEE				Marina - Co	
20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良けん。 学校、保育所等 当成した食育の推進 学校等 関係府省庁 分析手法 地産地消 地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じ一品としてカウントした上で、地場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 ー 目標 地産地消 地場産物を使用する割合、国産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、全ての市町村が地場産物を使える状況にはない。 学校、保育所等 多様な暮らしに対応した食育の推進 ナ供 会の循環や環境を意識した食育の推進 子供 会の循環や環境を意識した食育の推進 当時値として地場産物だけでなく国産食材があることがよい。地域によっては、学校給食として使用できる地場産物が少ない等の事情がある。 学校、保育所等 会の循環や環境を意識した食育の推進 一 地産地消 学校給食で、国産や地場産を使えばコストが上がってしまうが、傷などで廃棄される国産食材を活用学校、保育所等 学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 学校等 会の循環や環境を意意ない。 学校等 会会 食品口ス削減	学校給食での地場産物の使用割合について、70~80%台の県もあると実感しているが、平均すると		食の活理や理培を音					
い。 地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じ一品としてカウントした上で、地 場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。 地場産物を使用する割合、国産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、 学校、保育所等 「会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会	20数%。地域、実施主体の意識等により違いがあるため、一歩踏み込んだ要因分析ができると良	学校、保育所等			学校等	関係府省庁	分析手法	地産地消
場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。	い。		職のた政内の定と					
場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上かりにくい。	地場産物の使用割合は、使用量の多いものも、少ないものも、同じ一品としてカウントした上で、地	学达 /0 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2 /2	食の循環や環境を意				口捶	批英批准
全ての市町村が地場産物を使える状況にはない。	場産物の食品数の割合で算出しているため、数字が上がりにくい。	子仪、休月川寺	識した食育の推進		_		日保	地生地冲
全ての市町村が地場産物を使える状況にはない。 した食育の推進 した食育の推進 目標値として地場産物だけでなく国産食材があることがよい。地域によっては、学校給食として使用できる地場産物が少ない等の事情がある。 学校、保育所等 食の循環や環境を意識した食育の推進 ー 目標 地産地消 学校給食で、国産や地場産を使えばコストが上がってしまうが、傷などで廃棄される国産食材を活用学校、保育所等 食の循環や環境を意意ない環境を意味がでいる。 学校等 会会 食品口ス削減	地場産物を使用する割合、国産食材を使用する割合の両方を見た数値という形で進めていかないと、	学校 伊奈庇华	多様な暮らしに対応		Z#		松合	地产地沿
できる地場産物が少ない等の事情がある。	全ての市町村が地場産物を使える状況にはない。	子仪、休月川寺	した食育の推進		丁供		和民	地/生地/月
できる地場産物が少ない等の事情がある。	目標値として地場産物だけでなく国産食材があることがよい。地域によっては、学校給食として使用	学校 促变配学	食の循環や環境を意				日煙	州连州沿
学校、保育所等	できる地場産物が少ない等の事情がある。	子仪、保育川寺	識した食育の推進				口伝	心生地冲
していけば、資源の無駄やコストの削減ができるのではないか。	学校給食で、国産や地場産を使えばコストが上がってしまうが、傷などで廃棄される国産食材を活用	学校 伊奈庇华	食の循環や環境を意		学校笙		松合	合口口フ削減
	していけば、資源の無駄やコストの削減ができるのではないか。	大 仪、休月/小寺	識した食育の推進		子 仪守		和民	

食育基本法が制定された当時の小・中学生は20歳代になった現代、若い世代の食育が問題になって	·T	<u> </u>		1		I	1
		# III /IS #					
いることは、今後、もっと根本的に働き掛けていく必要がある。無関心層にどう働き掛けていくのか	1学校、保育所等		多様な暮らしに対応	子供		給食	
が重要であり、学校給食の充実に期待。給食を実施している学校が多いことからも、幅広い家庭の子		た食育の推進	した食育の推進				
供に対しても教育をすることが可能。		クサッサントにもた					
「共食」の良さを、一番理解できるのが学校給食の場である。	学校、保育所等	多様な暮らしに対応 した食育の推進		子供	学校等	給食	
栄養が十分にとれない家庭が増えている中で、 学校給食の役割は非常に大きい 。小・中学校の学校給	 学校、保育所等	多様な暮らしに対応		学校等	学関係府省庁	給食	
食実施率100%の早期達成をお願いする。	于仅、休日///··································	した食育の推進		丁 (X 寸	于风脉的自门		
学校給食をもって1日の食事となっている子供もいれば、家庭でいろいろな料理が並んでいるのに十		多様な暮らしに対応					
分な食べ方をしていない子供もいる。望ましい食習慣を形成する上で、学校給食は非常に重要。学校	学校、保育所等	多様な春りしに対応 した食育の推進		子供	学校等、関係府省庁	給食	
給食が100%実施され、義務教育における学校給食は義務として行われるようにしてほしい。		した民自の推進					
保育所・こども園の給食は、アレルギー対応も必要であり、重要な食育を担っている。保育所等の調		若い世代を中心とし		7 /H	公田光美工 光美工	* ^	会物 コロギ
理員にも栄養士等の資格は必要。	学校、保育所等	た食育の推進		子供	管理栄養士、栄養士	給食	食物アレルギー
学校給食の100%実施を目指すことはよいが、アレルギーのため、皆と同じ物が食べられず我慢して		多様な暮らしに対応		7 /H	光花体 图尔克沙宁	* ^	
いる児童もいることを視野にいれてほしい。	学校、保育所等	した食育の推進		子供	学校等、関係府省庁	給食	食物アレルギー
中学校における給食実施率は90%以上となったが、地域的な偏りはないのか。また、運動部への加	 	多様な暮らしに対応		¬ ш	<u>₩</u>	**	
入等、個人差があるので、自由に食べる量をコントロールできるのか。	学校、保育所等	した食育の推進		子供	学校等	給食	
栄養教諭の配置は、都道府県毎に格差 がある。学童期・青少年期の食育は若い世代の基盤になるた	:						
 め、栄養教諭の配置が進むよう支援が必要。朝食欠食も含め、学校では栄養教諭が対応しているの		若い世代を中心とし	食の循環や環境を意	子供	学校栄養職員、栄養教諭		
で、配置をさらに進めてほしい。	J pxt pittis// is	た食育の推進	識した食育の推進		3 120 132 130 130 130 130 130 130 130 130 130 130		
CY HOLE CO SIGNOVIO	_	若い世代を中心とし					
朝食摂取のために、体をしっかり動かし、しっかりと食べるという体験をさせることが必要。	学校、保育所等	石い但代を中心とし た食育の推進		子供			朝食欠食
却会な会れば会生はある。の音楽等について、会団の学校で調本も実施し、光美教会がじれぐらい会			今 0.任理 b.理 b. + +				
朝食欠食など食生活や食への意識等について、全国の学校で調査を実施し、栄養教諭がどれぐらい食	学校、保育所等		食の循環や環境を意	子供	栄養教諭		朝食欠食
育を行っていて、どこが不足しているのかを調査していきたい。	<u> </u> -T	した食育の推進	識した食育の推進				
小学生は歯の生え変わりや口腔機能の発達の時期 であり、きちんと噛んで食べられるか等、食べ方に	学校、保育所等	若い世代を中心とし		子供	学校等	授業	歯科保健
ついて学校で指導を行うことが重要。 高校生は、アンケートでも7割が「食育」の意味を知っていると回答するが、実践については、適切	<u> </u>	た食育の推進		1			
		若い世代を中心とし	健康寿命の延伸につ	-			۸ - ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱ ۱
なバランスがとれていない 、お菓子や清涼飲料水の摂取が多い。自分で意識を持った生活が必要と	字校、保育所等 	た食育の推進	ながる食育の推進	子供			食事バランス
なってきていることを <mark>自覚させることが大事</mark> 。							
はつてきていることを 自見させることが大事 。 私立高校は校長先生の一存で実施できることで食育活動の実行が可能。一方、公立高校では1年、2	学校、保育所等	若い世代を中心とし		学校等			
年で終了してほしい等、入り方が難しい。 		た食育の推進					
大学生になるほど保護者の管理が困難になるので、大学や専門学校の学食等での普及・啓発も必要。	学校、保育所等	若い世代を中心とし た食育の推進		若い世代	学校等		
食育活動表彰を受賞している大学のほとんどが管理栄養士・栄養士養成施設。一方、 <mark>専門家がいない</mark>	学校 伊安記签	若い世代を中心とし		ᆇᇇᄣᄹ	学校等		
大学でも学生食堂や教養教育等で、もう少し食育を推進してほしい。	学校、保育所等	た食育の推進		若い世代	学校等		
保育所や認定こども園でも、アレルギー対応や食育を進めている。若い親世代の意識啓発も含め、0	兴长 /0 本式 /5	若い世代を中心とし		7 /H			
歳から就学前の子供にも目を向けて食育に取り組むことが重要。	学校、保育所等	た食育の推進		子供			
A	<u></u>	多様な暮らしに対応			226 1-66		
食の問題も含めて、子供たちに教えることが一番親が変わること。	学校、保育所等	した食育の推進		子供	学校等		
出前授業等の人材がいるものの、学校の食育の場に入りづらい現状がある。一定の講座や研修等の講	<u> </u>	食の循環や環境を意		334 I+ 6+		######################################	
 師の登録ができる制度があればよい。	学校、保育所等	識した食育の推進		学校等		制度づくり	
子供たちの取組に対する表彰等を増やすこと で、子供たちの挑戦を通して、 食育に興味を持つきっか))	若い世代を中心とし		- w		++/	
けになるのではないか。	学校、保育所等	た食育の推進		子供		表彰	
		若い世代を中心とし					
中学校において給食や食育がうまくつながっている好事例を集めていただきたい。	学校、保育所等	た食育の推進		国民		情報提供	
	1					1	

(3)地域における食育の推進

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
手軽にバランスのよい食事をとりたい、といった若い世代の意見 もある。	地域	若い世代を中心とし た食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	若い世代			食事バランス
成人してからの食育の取組をどう充実させるのか。食品企業などの社会の提供側の目標あるいは活動 を支援することも重要。	地域	若い世代を中心とし た食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	企業	関係府省庁		
外食・中食の利用が多い方は主食・主菜・副菜をそろえる頻度が少ないというデータがあるが、そういうことに対応しようということで、日本栄養改善学会を含め9学会1研究会の10団体でスマートミールという取組を展開。社会環境側の整備も、食育の中で位置付けていきたいし、フードサービス協会等には頑張ってほしい。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進	健康寿命の延伸につながる食育の推進	企業	学会、関係府省庁	認証	
スマートミールについて、外食・中食事業者による熱心な取組が見られる一方で、価格が高くなることもあり、関心のない人や経済的に選択が難しい人への対応に課題。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進		企業	学会、関係府省庁	認証	
機能性農産物を活用した健康都市づくりの支援について、地域の農畜産物をいかした取組ということで、もっと力を入れていただきたい。	地域	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	食の循環や環境を意 識した食育の推進	_			地産地消
日本型食生活の普及活動の支援等、地域の農畜産物をいかした食育に、もっと力を入れていただきたい。日本型の食生活の普及と一緒に、自給率が上がるとよい。	地域	食の循環や環境を意 識した食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	_			
食料自給率が世界の中で低い現状を踏まえ、持続可能な農業を維持し、地産地消を進め日本型食生活 を続けられるようにしていくことが重要。	地域	食の循環や環境を意識した食育の推進					<u> </u>
社会全体が忙しい中、よく噛んで食べられる環境づくりが必要。歯科医師会・学会において高齢者の 口腔機能低下症にも取り組んでいるので、国民にも意識してほしい。	地域	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進		高齢者			歯科保健
障害児の摂食嚥下機能の不良さに関しても、食育の中で取り組んでいきたい。	地域	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進		障害児			歯科保健
子供食堂と連携した実態調査から上がってきた課題について支援を充実させてほしい。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進		子供	関係府省庁	支援等	子供食堂
子供食堂は民間から自発的にスタートしたが、ほぼ毎日、特定の個人に対して食事を提供するようになると、給食運営のノウハウが必要。衛生面が適切に対応できていないと、トラブルが発生した場合に、取組に水を差すことになりかねない。将来的には栄養士に相談できるような仕組みを考えてほしい。		多様な暮らしに対応した食育の推進		子供	管理栄養士、栄養士	情報提供	食品衛生子供食堂
子供食堂には、 ほとんど毎日、子供の居場所を提供しているところもあるが、そうした子供食堂では 運営費用等で課題も多い。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進		子供			子供食堂
子供食堂 は、本当に来てほしい人に来てもらえないという問題があると聞くが、服装や給食のおかわりの様子など、学校は、子供の状況を把握・気づきやすい場なので、支援の場へつなぐプラットフォーム的な役割を学校が果たすことも必要。		多様な暮らしに対応 した食育の推進		子供	学校等	情報提供	子供食堂
20代から40代の子育て世代への啓発が最も重要で、SNSを通してのPRが有効。啓発等に参加しない方たちにも広く届けられる政府広報のようなものがあると幅広く啓発になるのではないか。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進		若い世代		情報提供	
20~30歳代への食育の推進が弱い。企業の自主性と個人のマインドにかなり依存。経済産業省の健康経営銘柄は、食育が企業のステークホルダーにメリットとなる取組。現在、ESG(環境・社会・ガバナンス)やSDGs(持続可能な開発目標)の取組が企業に重要となっており、今後、食育をESGやSDGsのカテゴリーの中に取り入れれば、企業が資本市場を利用しながら取組が進んでいくのではないか。	地域	若い世代を中心とした食育の推進	健康寿命の延伸につながる食育の推進	若い世代	企業		健康経営
企業経営において、収益と同様にESG、SDGsが重要となってきており、農林業行体験、食品ロスの問題は、まさしく結び付く論点になることから、企業活動の中でESGにつながるリンケージを作っていく、企業という主体が積極的に取り組むことが重要。		食の循環や環境を意識した食育の推進		企業		情報提供	農林漁業体験食品ロス削減
多くの企業がSDGsの各項目に取り組んでいる。 食育とSDGsとの関係を深堀りし、ESGと結び付けていく と、企業の取組が深化する。	地域	若い世代を中心とし た食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	企業	関係府省庁		SDGs

健康経営の具体的な取組を社会に対して発信することで、大学や研究機関が何をすべきか、連携先が どこにあるかが見えてくる。今後、具体的な情報を提供してほしい。	地域		健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	国民	関係府省庁	情報提供	健康経営
健康経営に関して注目されるのは大企業中心。保健所単位で企業の従業員の健康づくりのための食生活をどう進めるかという施策をやっているが、中小企業が実際に取り組むといってもなかなか難しい。その辺りも施策としての取組が必要。		若い世代を中心とし た食育の推進	健康寿命の延伸につながる食育の推進	企業	関係府省庁		健康経営
健康経営を中小企業でも取り組めるよう関係省庁が協力して進めてもらいたい。	地域	若い世代を中心とし た食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	企業	関係府省庁		健康経営
健康経営が企業の中で広まれば、小・中・高校で学んできた食育がそこでいかされる。	地域		健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	若い世代			健康経営
学校現場だけでなく、健康経営という視点の会社、減塩等に取り組む食品企業の登録数を増やし、自分もやらなければと呼び起こすような刺激が周りにあると良い。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進	若い世代	企業		健康経営
働き方改革の先にある生き方改革なのか、家族が一緒にご飯を食べられるという、働く男性を結び付けるような流れが来ており、企業を巻き込んでいくことが、今後の食育のトレンドとなる。	地域	多様な暮らしに対応 した食育の推進		若い世代	企業		働き方改革
「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理に関するガイドライン」が、様々な事業者 に活用されることを期待している。	地域	健康寿命の延伸につ ながる食育の推進		高齢者	企業		

(4) 食育推進運動の展開

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
市町村食育推進計画の作成の割合は、増加を続けているが、このままでは100%を達成は困難。マン	食育推進運動	総合的な視点		白沙体			
パワー不足の町村へは、 広域連携の枠の中で作成を進めるべきではないか 。	及月班進建到	心口でなれる		目治体			1

(5)生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
農林漁業体験は、育てるところから順番に手入れをして収穫して、どういう料理をして食べるかとい	生産者と消費者との交流	食の循環や環境を意		子供			農林漁業体験
うストーリーを持って、体験するというのが大事。	の促進等	識した食育の推進		丁供			辰怀庶未仲腴
他の目標値と比較して、 農林漁業体験を経験した国民の割合40%の目標値は低いため、もっと高く 目標値を掲げてもよい。皆が農林漁業体験をすることにより、日本の食材の役割をもっと学べるので はないか。	牛産者と消費者との交流	食の循環や環境を意識した食育の推進		_		目標	農林漁業体験
酪農ファームに参加し、命や感謝を学んだ子供が親世代になって、食に対する力が付いている。小学校生活を通じ、1年に1回から2回は体験学習を導入し、農業、環境、健康、福祉を学び、自ら選択できる力を養ってほしい。	生産者と消費者との交流	食の循環や環境を意識した食育の推進		子供			農林漁業体験
既に学校では生徒に様々な体験活動をさせており、これをきっかけにして他に広がり、継続できる場があれば良い。		食の循環や環境を意 識した食育の推進		子供			農林漁業体験
農林漁業体験は、他の団体と手を組んで食育を進める方法もある。	生産者と消費者との交流 の促進等	食の循環や環境を意識した食育の推進		子供			農林漁業体験
農林漁業体験は地域づくりに役立っており、政府からの引き続きの支援をお願いする。		食の循環や環境を意 識した食育の推進			関係府省庁		農林漁業体験
農林漁業体験を学校で行うに当たり、来年度に向けて苦慮しているのは、授業等の時数確保。時間を 新たに設けるわけではなく、今ある教科の中で取り組むことをやっていかなければならない。		食の循環や環境を意 識した食育の推進		子供			農林漁業体験
食品ロスの削減は、 外食などロスが出る現場での工夫が大事 。	生産者と消費者との交流 の促進等	食の循環や環境を意 識した食育の推進		企業		国民運動	食品ロス削減
国民が食品ロスへ取り組むことは当然であるが、 事業者の取組も重要 。	生産者と消費者との交流 の促進等	食の循環や環境を意 識した食育の推進		企業		国民運動	食品ロス削減

(6) 食文化の継承のための活動への支援等

意見の内容	事項	重点課題	関連する重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
高校生が地域の方たちから地域の食文化や農業体験等を通して学んだことが、学生を育て、地域づく	食文化の継承	食文化の継承に向け	食の循環や環境を意	子供	コーディネーター		食文化伝承
「りに役立っている。このような地域のコーティネートも必要。		た食育の推進	識した食育の推進	丁供			農林漁業体験
農作物の保護・継承に関する取組も、GI(地理的表示保護制度)の対象でなくても「食文化の継承に	合立化の継承	食文化の継承に向け			関係府省庁		食文化伝承
1同けた食台の推進11、取りあけていたたきたい	1 /	た食育の推進					民义化伍承
食文化の継承と併せて、主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を推奨する等、 健康寿命の延伸に結び	合立化の継承	食文化の継承に向け	健康寿命の延伸につ				食文化伝承
付けた取組を進めてもよいのではないか。	良义化の継承	た食育の推進	ながる食育の推進				健康寿命の延伸

(7) 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

意見の内容	事項	重点課題	対象者等	支援者等	手段等	その他
食品の安全性について若い世代が自ら判断するという項目について、最近、意外と表示などを見ない	4000000000000000000000000000000000000	若い世代を中心とし	若い世代		情報提供	
若い人が増えている ことが気になっている。	食品の安全性等	た食育の推進	石い凹化		1月 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年	
食品表示について、表示すべき内容は増える一方で、食品のパッケージは小さくなり、見えにくくなっている	今日の空会性等	多様な暮らしに対応	田田		情報提供	
ので、 <mark>例えばQRコードを使い、ウェブサイト上で見るなどの対応ができないか</mark> 。	食品の安全性等	した食育の推進	国民		门月羊以辽定门六	